

R&S®NGL200 Power Supply Series

高精度のソースとシンク



最適な選択

バッテリー
テスト

消費電力テスト

電圧降下の
シミュレー
ション

繊細なデザイン

| 主な仕様 | R&S®NGL201 | R&S®NGL202 |
|----------------|------------------------|------------|
| チャンネル数 | 1 | 2 |
| 最大出力パワー | 60 W | 120 W |
| 1チャンネルあたりの出力電力 | 最大60 W | |
| 1チャンネルあたりの出力電圧 | 0 V ~ 20 V | |
| チャンネル当たりの出力電流 | ≤ 6 V: 6 A, > 6 V: 3 A | |
| 過渡応答時間 | < 30 μs | |
| 解像度 | 1 mV / 0.1 mA | |

主な特長

他の電源との違いは？

- 最小限のオーバーシュートと超高速過渡応答時間で出力電圧を高速で調整
- ノイズの影響を受けやすいDUTに干渉のない電圧を供給するための最小残留リップルとノイズ
- 最大6½桁の測定分解能で、スタンバイモードでの低消費電力と全負荷動作での高電流を備えたデバイスの特性評価に最適
- 2象限：ソースまたはシンクとして動作

| 利点 | 特長 |
|---------------------------|---|
| 最小限のオーバーシュートで最適化された過渡応答時間 | 困難な負荷条件下でのオーバーシュートを最小限に抑えながら<30 μsの最適化された過渡応答時間を実現しているので、R&S®NGL200は、スリープモードではほとんど電流を必要とせず、送信モードに切り替えると急激に電流を増加させるIoTなどのバッテリー駆動の機器をテストするのに最適です。 |
| 低リップル/低ノイズ | 複雑な半導体などの繊細な設計に干渉のない電圧を供給し、電力増幅器やMMICの開発を支援します。 |
| シンクとソースの操作 | R&S®NGL200シリーズのリニア2象限出力アンプ設計により、シンクおよびソース動作でバッテリーおよび負荷をシミュレートすることができます。 |
| 6½桁の分解能 | 電圧、電流、電力を測定する場合、R&S®NGL200シリーズは最大6½桁の分解能を持ち、待機時消費電力が少なく、全負荷動作で大電流となるデバイスの特性評価に最適です。多くのアプリケーションで追加のDMMを置き換えることも可能です。 |

▷ 詳細はこちら

www.rohde-schwarz.com/catalog/ngl200

最大6 $\frac{1}{2}$ 桁の測定分解能

電圧、電流、および電力を測定するときの最大6 $\frac{1}{2}$ 桁の分解能で、R&S®NGL200直流電源はスタンバイ・モードで低消費電力、全負荷動作で大電流のデバイスの測定に最適です。



高解像度ディスプレイは、電力値や統計などの追加情報を提供します。

過電圧保護 (OVP)、過電圧保護 (OPP)

電圧/電力が設定された最大値を超えると、チャンネルはオフになり、ディスプレイ上に該当する記号が点滅します。

過電流保護 (電子ヒューズ、OCP)

R&S®NGL200直流電源のチャンネルには、個別に設定できる電子ヒューズが装備されています。チャンネル電流が設定電流を超えると、チャンネルは自動的にオフになり、メッセージが表示されます。

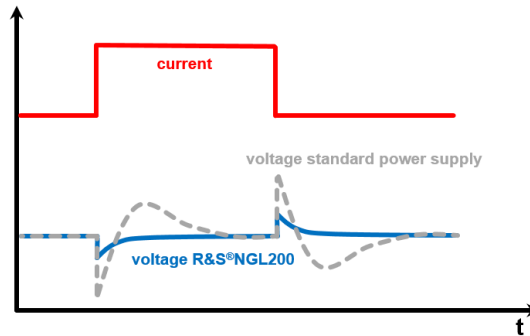
QuickArb機能

任意波形機能を使用すると、時間/電圧または時間/電流を設定できます。シーケンス 最大4096ポイント、最大1msの滞留時間分解能で、QuickArb機能は新しい標準を設定します。

イーザーランプ機能

敏感なアプリケーションでは時々必要とされる電源電圧の急激な上昇を避けるために、出力電圧は10msから10sの時間枠内で連続的に増加させることができます。

最適化された過渡応答時間



困難な負荷条件下では、ほとんどの電源装置の過渡応答時間は遅くオーバーシュートは大きくなります。R&S®NGL200シリーズの特別に開発された回路は、最小のオーバーシュートで30 μ s未満の過渡応答時間を達成し、敏感な部品の供給に最適です。

わかりやすい操作

高解像度静電容量式タッチスクリーンは、R&S®NGL200直流電源の操作の中心です。アイコンは、セット保護または特殊機能の状況を明確に示します。



電源装置が定電圧モードのときは、数字とキーが緑色になります。赤は定電流モードに使用されます。出力キーが青く点灯して、チャンネルがオン (アクティブ) になっていることを示します。

2象限動作、最小リップルとノイズ

R&S®NGL200直流電源のアーキテクチャにより、ソースとシンクの両方として機能することができます。機器はシンクとソースの動作を自動的に切り替えます。この例では、チャンネル2が負荷として機能します。



出力段の線形設計は、残留リップルとノイズを最小限に抑え、パワーアンプとMMICの開発をサポートするのに最適です。

オーダー情報

| ベースユニット | |
|--------------------------|--------------|
| 直流電源、1チャンネル | R&S®NGL201 |
| 直流電源、2チャンネル | R&S®NGL202 |
| ハードウェアオプション | |
| IEEE-488 (GPIB) インターフェース | R&S®NGL-B105 |
| ソフトウェアオプション | |
| Wireless LAN リモートコントロール | R&S®NGL-K102 |
| デジタル I/O トリガ | R&S®NGE-K103 |
| システムコンポーネント | |
| 19インチラックアダプタ、高さ2ユニット | R&S®HZN96 |